

平成 26 年度  
エコオフィス実行計画実績結果

平成 27 年 9 月

観 音 寺 市

## ■ 平成 26 年度実績報告

観音寺市では、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に規定する「温室効果ガスの排出量の削減のための措置に関する計画」として平成 21 年 3 月に「エコオフィス実行計画」（以下、「実行計画」という。）を策定し、同年 4 月から実施しています。また、平成 26 年 7 月に市民会館閉鎖解体に伴う実行計画の改訂を行いました。本報告書は、改訂された実行計画に基づき、平成 26 年度の実施状況について取りまとめたものです。

### 対象とする温室効果ガス

本計画において排出量の削減対象とする温室効果ガスは、次の 4 物質とします。

【二酸化炭素】、【メタン】、【一酸化二窒素】、【ハイドロフルオロカーボン】

### 温室効果ガスの削減実績

平成 26 年度における実行計画の実施により、市の事務事業から排出される温室効果ガス総排出量の削減実績は以下のとおりです。

(単位 : kg-CO<sub>2</sub>)

排出源	平成 25 年度 (基準年)	平成 26 年度	基準年対比 (%)
ガソリン	174,401	162,735	-6.7%
灯油	73,898	68,757	-7.0%
軽油	242,070	214,302	-11.5%
A重油	237,160	200,309	-15.5%
LPG	4,750	2,735	-42.4%
電気	2,231,540	2,257,774	1.2%
その他の CO <sub>2</sub>	4,312	5,121	18.8%
CO <sub>2</sub> 以外 (※)	239,715	233,389	-2.6%
温室効果 ガス全体	3,207,846	3,145,122	-2.0%

※CO<sub>2</sub> 以外とは【CH<sub>4</sub> メタン】、【N<sub>2</sub>O 一酸化二窒素】、【HFC ハイドロフルオロカーボン】です。

※集計は端数処理の関係で一致しないことがあります。

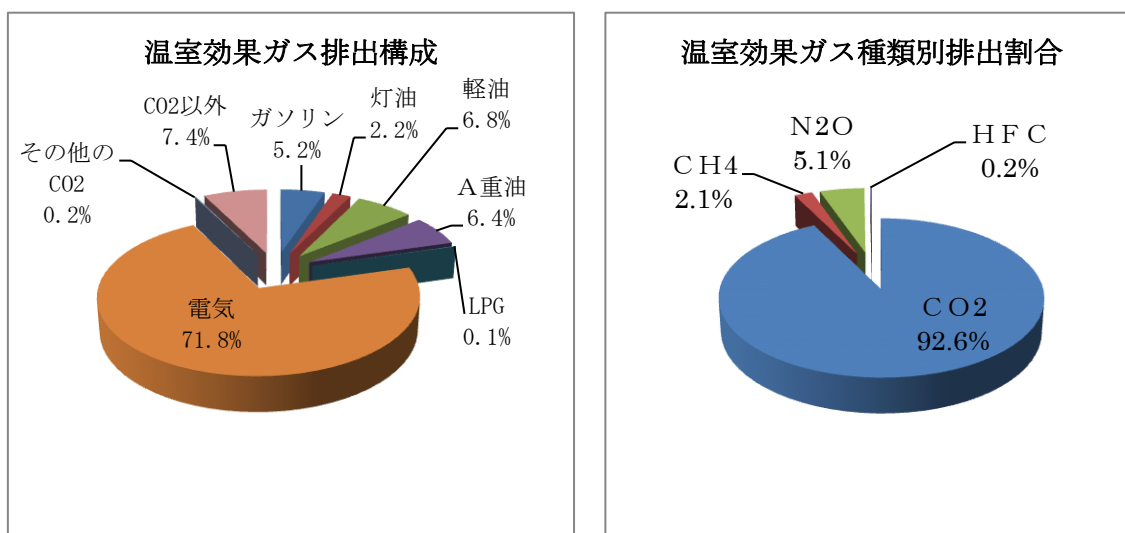
※平成 25 年度分には市民会館解体によりホール部分の実績は含まれておりません。

## 温室効果ガス 種類別排出量

(単位：kg-CO<sub>2</sub>)

温暖化ガスの種類	平成 25 年度 (基準年)	平成 26 年度	基準年対比
CO <sub>2</sub>	2,968,131	2,911,733	-1.9%
CH <sub>4</sub>	67,330	65,889	-2.1%
N <sub>2</sub> O	166,555	161,514	-3.0%
HFC	5,831	5,987	2.7%
計	3,207,846	3,145,122	-2.0%

※集計は端数処理の関係で一致しないことがあります。



集計結果によると、平成 26 年度の温室効果ガス総排出量は、基準年度（平成 25 年度）に比較して約 2.0%（約 63 トン）の減少になりました。

主な減少要因は、燃料の使用により排出される温室効果ガス量、上水の使用により排出される温室効果ガスの減少によるものと考えられます。

平成 27 年度は、温室効果ガスの削減のための取り組みをさらに継続し、目標達成に向けて、温室効果ガス削減を推進します。